

令和7年度（2025年度） 今治北高校大三島分校 シラバス

教科	理科	科目	物理	学年	第3学年	類型	Ⅱ型理系選択
単位数	4単位	教科書	物理 P h y s i c s 深める（東京書籍）				
補助教材	「セミナー 物理基礎＋物理」（第一学習社） 「物理基礎・物理 実験ノート」（愛媛県高教研理科部会物理部門）						

学習目標	物理的な事物・現象に対する探究心を高め、目的意識をもって観察、実験などを行い、物理学的に探究する能力と態度を培うとともに、物理学の基本的な概念や原理・法則の理解を深め、科学的な自然観を養う。
------	---

学期	月	単元	学習内容・単元の目標	定期 考査
1 学期	4月	第3編 波	水面波、音や光などの波動現象を観察、実験を通して調べ、波の伝わり方や干渉、回折などについて理解する。 実験、観測を通して、音の干渉、回折及びドップラー効果について基本的な性質を理解する。 観察、実験を通して、光の伝わり方、回折及び干渉について理解する。	中間考査 期末考査
	5月	第1章 波の伝わり方		
	6月	第2章 音の伝わり方		
	7月	第3章 光		
		第4編 電気と磁場		
2 学期	8月	第1章 電場	電気と電流について観察、実験を通して扱い、基本的な概念や原理・法則を系統的に理解する。 電流がつくる磁界（磁場）、電磁誘導、交流、電磁波などの観察、実験を通して、電流と磁界についての基本的な概念や原理・法則を系統的に理解する。 電子の電荷と質量、電子や光が粒子性と波動性の両方の性質をもつことを理解する。	中間考査 期末考査
	9月	第2章 電流		
	10月	第3章 電流と磁場		
	11月	第4章 電磁誘導と電磁波		
	12月	第5編 原子 第1章 電子と光		
3 学期	1月	第2章 原子と原子核	原子の構造、原子核の構成などについて理解する。	学年末考査
	2月			
	3月			

学習の方法	日々の授業において自分の学習目標を設定して努力することが大切です。エネルギーについて学ぶ際には基本的な概念や原理・法則を理解していくことが必要ですが、単に暗記するだけではなく、なぜそうなるのかを考え、系統立てて学習していくことが大切です。日常生活の中で起こる様々な自然現象に興味を持ち、その法則性について考えながら学習に取り組んでみましょう。
-------	---

評価の観点	① 知識・技能	② 思考・判断・表現	③ 主体的に学習に取り組む態度
	自然の事物・現象について、基本的な概念や原理・法則を理解し、知識を身に付けている。また、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの技能を身に付けている。	自然の事物・現象の中に問題を見だし、見通しをもって観察、実験などを行い、探究する過程を通して、事象を科学的に考察し、導き出した考えを的確に表現している。	自然の事物・現象に関心や探究心をもち、意欲的にそれらを探究しようとするとともに、科学的態度を身に付けている。
評価方法	評価の観点を踏まえ、定期考査の得点と平常点から総合的に評価を行う。 平常点は、提出物（課題、ノート、学習プリント等）・小テスト・実験レポート・授業に取り組む姿勢を考慮して評価する。		